

■ Microsoft Office アップロードセンターについて

※Microsoft Office アップロードセンターは、サーバにアップロードされているファイルの状態を管理する機能で、Microsoft Office 2010 以降では自動的にインストールされます。(Office2010 は機能のオフが可能、Office2013 は機能をオフすることができません)

Office2010 以降をご利用のお客様で、Windows 標準の WebDAV 接続を用いて HOME-BOX2 をご利用の場合、アップロードセンターの仕様により、次のような制限が生じます。

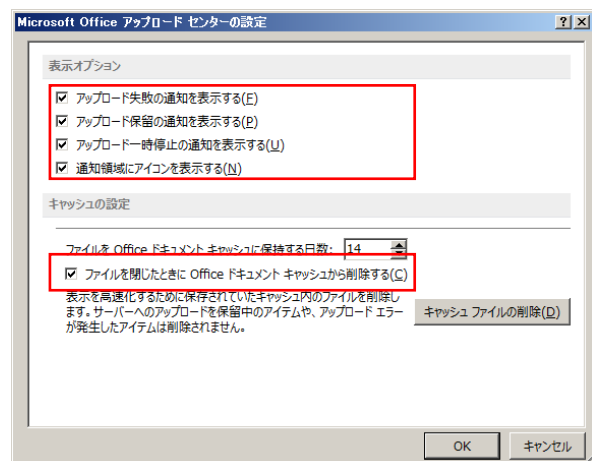
【制限事項】

HOME-BOX2 上のファイルをオープンし、編集後に上書き保存する際に、オフラインやネットワーク不安定等が理由で正常に上書き保存されない場合があります。このとき、Office 上では上書き保存が終了しているように見えるのですが、アップロードセンター側ではアップロードが保留状態となります。

上記のような動きより、利用者は正常に上書き保存が出来たと勘違いしてしまい、以降の作業を継続し、別の利用者が修正上書き保存をしてしまい異なるバージョンが生成されるケースが報告されています。

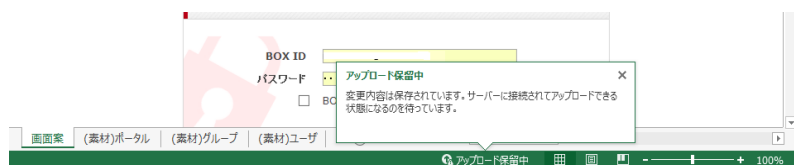
上記現象の対策として、アップロードセンターの設定を変更する対応を推奨します。
尚、Office2013 ではアップロードセンターそのものをオフにすることはできません。

Microsoft Office 2013 場合、「スタート」→「すべてのプログラム」→「Microsoft Office 2013」→「Office 2013 ツール」→「Office 2013 アップロードセンター」を起動し、「設定」から『表示オプション』の各チェック及び、『キャッシュの設定』の『ファイルを閉じたときに Office ドキュメント キャッシュから削除する(C)』のチェックボックスをオンにし、「OK」ボタンをクリックします。

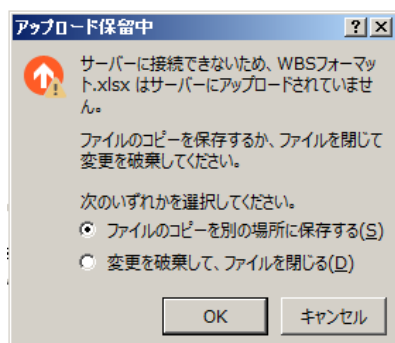


※上記設定を行っていない場合、上書き保存されていないにも関わらず、正常にファイルクローズがされ、一定期間ローカルキャッシュによって修正反映後の内容が表示されてしまいますので、かならず設定をオンにしてください。

上記の設定変更により、アップロード失敗の場合にはバルーン表示で状態を確認できます。



また、上書き保存が正常に終了していない状態でファイルをクローズする際には、ファイルを他の場所に保存するか、または変更を保存せずに破棄するダイアログが表示されます。



※本仕様は、Microsoft Office アップロードセンターの仕様制限となりますので、HOME-BOX2 として回避する方法はございません。

以上